

令和6年度 第1回学校評議員会 会議録

○日 時 令和6年6月12日（水） 10:30～12:20

○会 場 田名部高等学校 会議室

○出席者 学校評議員（6名）… A:全日制卒業生の保護者代表 B:全日制の保護者代表
C:定時制の保護者代表 D:同窓会代表
E:地域住民の代表 F:教育関係の識者

いじめ防止専門員（1名）

学校側（8名）… 校長、全日制教頭（司会）、定時制教頭、事務長、教務部主任、
生徒指導保健部主任、教務部員（記録）

- 次 第
- 1 開 会
 - 2 委嘱状交付
 - 3 出席者自己紹介
 - 4 校長挨拶・学校経営方針説明(校長)
 - 5 学校概要説明(教務部・生徒指導保健部、進路指導部、定時制)
 - 6 質疑・意見交換
 - 7 その他
 - 8 閉会

○会議録

1 開会 ※省略

2 委嘱状交付 ※省略

3 出席者自己紹介 ※省略

4 校長挨拶・学校経営方針説明(校長)

1) 校長挨拶

本日はお忙しい中、学校評議員会に御参加いただき、ありがとうございました。我々が行っている教育活動を、外部の方に評価して頂くこの会議は、非常に重要な会議と位置づけています。

忌憚のない御意見をうかがって、学校経営に生かしていきたいと思っております。どうかよろしくお願ひします。

2) 経営方針 学校教育計画学校経営方針(校長)

今年度、特に特化して行っているのは経営方針の四角で囲んだ部分です。

全日制に関しては、入学時点の成績と、進路先を比較しても「県内で一番生徒の学力を伸ばしている学校」であると自負できます。生徒が真面目に学習に取り組んでいることに加え、

若い教員集団が懸命に教育に取り組んでいる成果だと思えます。その上で必要なのは、真の意味での「主体性」だと思っています。今年度は「なぜ学ぶのかを生徒自身が考えること」「答える力より問う力を身につけること」を目標に掲げて、教育活動を行っています。

手取り、足取り身につけさせた力など本当の力ではありません。主体的に学ぶためには「なぜ学ぶのか」の内発的動機を生徒が持つことだと思っています。授業で教科の魅力を語ることで、教員自身が「自分が学ぶ意味」を語ることを、様々な方法で個々の生徒に「学ぶ意味」を考えさせたいと思っています。

また、生成AIの進展により、もはや答えはAIが出してくれる時代に突入しています。これからは正確に答えることが求められるのではなく、「疑問を持つ力」、「問う力」が必要です。そうした意味で、全ての教育活動を通じて「問う力」を生徒につけて行きたいと思っています。

定時制については、小中学校時代の不登校体験や、学びに困難を持つ生徒、もしくは金銭的な理由から働きながら学びたいと考える生徒の大切な「学びのセーフティーネット」として機能しています。生徒達は毎日一生懸命登校してきます。先生方も一人一人に丁寧に対応し、定時制全体が優しく温かい空気に包まれています。今年度は「自己肯定感を醸成すること」「何でも言語化し、人に伝える訓練をすること」を目標に掲げました。非認知能力（やり抜く力や協働力、コミュニケーション能力など）のベースは自己肯定感です。定時制の生徒には3年あるいは4年という時間をかけて、周囲の人と関わり、学び、そして様々な活動を通じて、自己肯定感を醸成させることができるよう支援しています。また、他人に言葉にしてもらわなければいけない人だと、他人に振り回されてしまいます。自由に生きるには「言葉」が必要です。様々な活動を通じて「言語化」する力を養っていきたいと思っています。

こうした活動を行うために教員に求められること。校長として行うことを経営方針には明記しました。

5 学校概要説明（教務部・生徒指導保健部、進路指導部、定時制）

【教務部主任】

1) 現状と課題について

- ・本校生徒は素直で真面目ではあるが自己肯定感の低さや人間関係の問題など苦しむ生徒もいる。
- ・教職員が多忙な日々を送っている。

2) 今年度取り組む具体的方策について

- ・ICT活用によって時間割変更の連絡を簡略化に努める。
- ・本校の実情に合った規程や申し合わせの検討事項として、アップルウォッチやスマートウォッチなど、テスト時には外すなどの追加がある。

【生徒指導保健部主任】

1) 現状と課題

- ・現在まで大きな事故非行はない。
- ・保健室の利用者数が多い。

→人間関係での悩みやスマートフォンでのトラブルが増えてきている。

2) 今年度取り組む具体的方策について

- ・生徒の実態把握に努める。そのために声かけをしながら成長を見守る体制を整えていく。
- ・まずは朝起きて元気に登校し、学校生活をおくって部活に励み、家に帰り早く寝るといった基本的な生活習慣の確立に努める。

【進路指導部主任】

1) 現状と課題

- ・令和5年度進路状況（別紙資料を説明）。進路状況は就職から進学まで多様である。
- ・今年度に入り、生徒はボランティア活動に前向きな現状がある。

2) 今年度取り組む具体的方策について

- ・進路指導体制の方向性を学校教員間で共有し、同じ温度で指導する。
- ・進路選択の視野を広げるために引き続き課外活動を積極的に発信する。

【定時制教頭】 学校教育計画経営案(定時制の課程)

- ・生徒の基礎学力の定着を目指し、全教員で授業を充実させる。
- ・探究心を高める授業をするために、地元のことを研究する活動を実施している。
- ・社会に出て、日中働いたときを見据えて生徒の確立を目指す。
- ・何でも言語化できるように普段の生活からコミュニケーションに取り組みさせる。
 - 中学校時代は不登校で他者との接し方がわからない生徒がいる。
 - 登校時、玄関先で会うと、明るい表情でコミュニケーションをとることが出来ている。その様子から、これまでの生活になかったことを必死に埋め合わせているようにも思える。そのくらい生徒も一生懸命学校生活を送っている。
- ・教室数を確保するために、小教室1の中にある物品や棚などを移動し、空き部屋として利用できるようにした。これからは小教室1を利用して個別指導を充実させる。
- ・部活動においても自己を高める環境が出来ている。
 - ナイターバレーをしている生徒を中心に女子バレー部を春から結成。定通総体でもバレー競技は何年ぶりかの開催となり主催側も大変感心していた。定通総体は負けたものの、その後の生徒の様子は「もっと練習したい」と前向きな姿勢がある。

6 質疑・意見交換

○学校評議員 F

定時制の在籍数が増えているのは、在籍異動によるものなのか？

→定時制教頭

中学校からの申し送りからも、今年は特に人数が多いと感じている。入試の時点で考慮して欲しいということも多かった。また、中学校時点で不登校だった生徒も多い。在籍異動についても、編入・転入生が7名もあり、例年の2倍ほどの人数になっている。

→学校評議員 C

定時制生徒の雰囲気を見ると、いつも生徒も明るく、先生方の対応も手厚いと感じている。

○学校評議員D

今年度に入り、中学校でも PTA 活動を脱退、退会するなどの動きはあるが、今後、高校ではそのようなことはあるか？

→校長

本校では、PTA 入会式で PTA 活動について説明をし、入会は任意であることも伝えていく。お金の使い方や学校教育における教員の在り方など、PTA や生徒や教員が納得のいく活動になるようにしていく。

○学校評議員A

学校内でのスマートフォンの使用法については、規定で明確になっているが、スマートウォッチについては詳しく決められているのか？本来は時計機能のために着用しているが、もし、スマートウォッチにメールが来たときにはどのように対応するのか？

→生徒指導保健部主任

スマートフォンはこれまで通り、登校時に生徒玄関で電源を切ることになっている。スマートウォッチについては、現状、授業中の扱いについては規制をかけていない。

→教務部主任

考査においては、スマートウォッチの着用を禁止にしており、考査の度に掲示物で連絡している。

→学校評議員A

即座に連絡に内容がわかるなど便利なことが多いが、生徒の使い道が気になる。

○学校評議員E

チャット GPT など AI が課題をやってくれるなどしたときに、その課題の内容を見極めるものはあるのか？また、田名部高校ではチャット GPT をつかっているのか？

→校長

英語科は取り入れている。チャット GPT 機能で何を取り入れるのかを考えさせたい。なぜ文章を作成する力が必要なのかを教えながらも、便利なものをどのように活用するのかも含め使用用途を考えさせたい。

→学校評議員E

有効なものは使った方がいいと思う。また、先生方が多忙であることも承知の上で話す。そのような AI 機能を使用するためのリテラシーを高められる研修などの時期はあるのか？

→校長

時間がない中でも、長時間の研修でなくても、「この部分の内容を押さえない」といった 20 分ほどの短時間で学びを得ることも可能なため、今後、職員会議後などで教員研修などの時間を作れればと考えている。

○学校評議員E

先生方の連絡網はどのようなツールを使用しているのか？教職員のグループ LINE などはあるのか？

→教務部主任

グループセッションやクラスルームを活用している。

→校長

県でもこのツールを使ってくださいという決まりはない。ラインのグループLINEは私的なものになるため、学校全体で入って下さいということはしていない。

→渡邊主任

現状、グループセッションと緊急メールだけで困ったことはない。

→進路指導部主任

学校でGoogle Workspaceに入っているため、生徒の欠席連絡にはGoogleを活用している。また、授業内でのアンケートや連絡についてもclassroomやfoamを活用している。

<11:35～12:10 授業参観>

※授業参観後に評議員等から講評

○いじめ防止専門員

子どもが夢をもって田名部高校に入り、目標を立て実現することを、先生と一緒に授業や部活動や特別活動を通して創り上げているのだと思った。私自身もこの立場からできることを一緒に取り組んでいきたいと思った。定時制は自己肯定感を高めるために、学習面、バイト、部活動で生徒の頑張っているところを本人に伝えてフィードバックして欲しい。それが普通のことであってもプラスのフィードバックになり、子ども同士、家庭内でのフィードバックも必要になる。生徒の教育に携わる者として資質向上もそうだが、教員自身がリラックスすることなどももっておくべきである。

○学校評議員A

授業を拝見して、いつ見ても田名部高校の生徒はまじめで一生懸命だと感じた。一生懸命書き込んでいたり、英語など話す場面があるときには堂々と参加している様子が見られた。PTAも生徒も多種多様になっており、各々の考えや在り方をまとめるのは大変だと思うが、そこに説明があれば皆が納得いく学校生活ができると思う。

○学校評議員B

今後も生徒らが明るく元気にいてくれればいい。生徒の変化に気づこうとしている体制や、登校時に玄関先で校長先生が挨拶してくれる環境がありがたい。

○学校評議員C

授業参観で校内を拝見して、全日制はまた定時制と比べて違う雰囲気を感じた。校長先生がいつも登校時に玄関先で挨拶を生徒にして下さることも本当にありがたく思う。

○学校評議員D

昔と比べて今は時代が変わったのだと感じた。昨年度のアンケートで「田名部高校でよかったか？」の項目について、娘に聞いたところ、「よかった」という返事もあり、先生方の日頃の支えのおかげだと感じている。

○学校評議員 F

自分の子どもが今いたら、是非、田名部高校を推薦したいと思った。授業を参観して先生の生徒を引きつける力が見られ、熱心に生徒を育てている様子に感心した。そのような教員が分掌業務、教材研究、部活動で忙しくしている中で、ぜひ校長先生には経営方針にも明記されているように、物理的にハード面で変化させるようお願いしたい。自分が教壇に立っていた時代から授業の仕方が大きく変わり、今は便利になったものが多いが、ぜひ使えるものはどんどん使って欲しい。

< 12 : 20 閉会 >